

令和3年度第3回さいたま市社会教育委員会議 次第
(第11期第2回会議)

日時：令和4年1月13日（木）
10時00分から
会場：ときわ会館5階
小ホール

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

(1) 報告事項

① 前回会議について

② コロナ禍における生涯学習関連施設での取組等について

(2) 協議事項

① 第11期社会教育委員会議における審議内容について

(3) その他

4 閉 会

令和3年度第3回(第11期第2回)さいたま市社会教育委員会議 出席者名簿

No.	氏名	選出母体等	備考
1	石田 玲子	さいたま市公民館運営審議会委員	
2	井上 久雄	青少年育成さいたま市民会議副会長	
3	内田 崇史	さいたま市立小学校校長会	
4	加藤 美幸	十文字学園女子大学特別招聘講師	
5	桑原 静	特定非営利活動法人さいたまNPOセンター専任委員	
6	小森谷 由紀江	埼玉県児童福祉審議会委員	
7	佐藤 理恵	公募委員	
8	関根 公一	公募委員	
9	高山 俊介	さいたま市中学校長会	欠席
10	塚元 夢野	公募委員	
11	林 弘樹	映画監督	
12	溝口 景子	さいたま市PTA協議会副会長	
13	村山 和弘	(公財)さいたま市スポーツ協会専務理事	
14	若原 幸範	聖学院大学准教授	
15	亘理 史子	浦和大学非常勤講師	

(50音順)

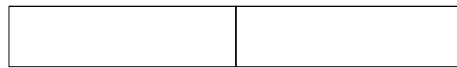
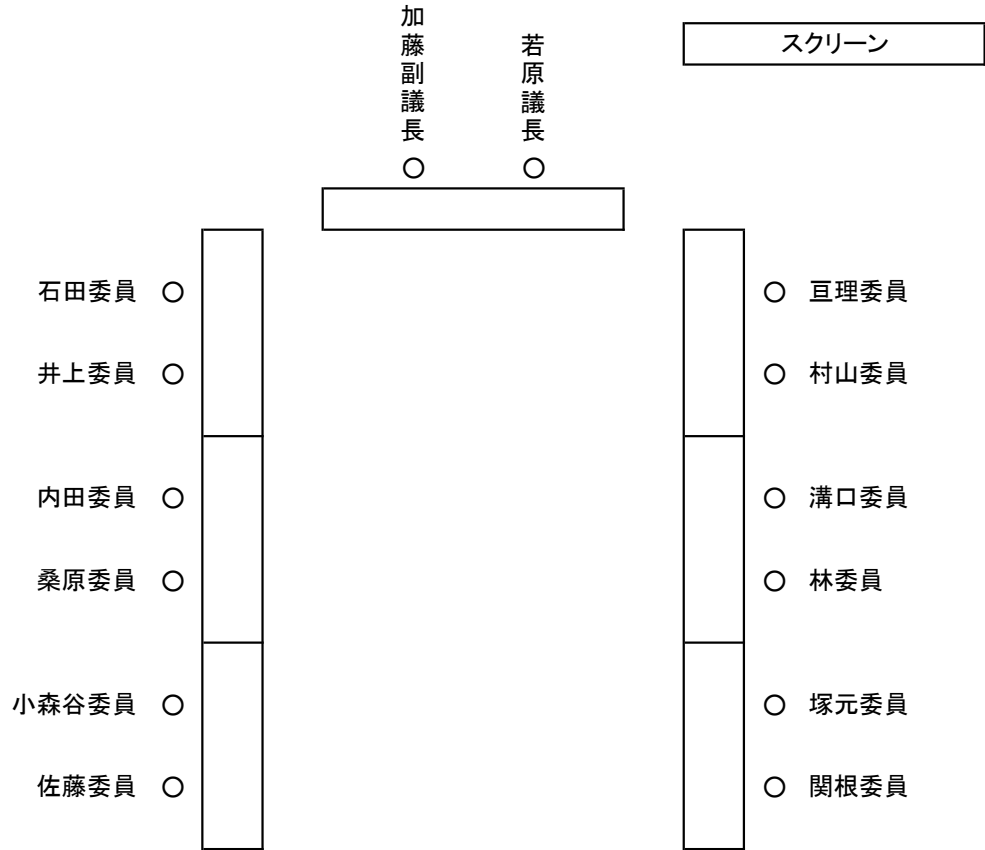
(事務局)

1	千葉 裕	教育委員会事務局生涯学習部長
2	山本 高弘	教育委員会事務局生涯学習部参事兼生涯学習振興課長
3	石田 悦子	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課企画振興係長
4	清宮 雅貴	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課企画振興係主事
5	高野 未紗	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課企画振興係主事
6	中村 和哉	教育委員会事務局生涯学習総合センター参事兼副館長
7	野村 明子	教育委員会事務局中央図書館資料サービス課長補佐

令和3年度第3回(第11期第2回)さいたま市社会教育委員会議 席次表

日時: 令和4年1月13日(木)10時00分～

会場: ときわ会館5階 小ホール



○ 千葉部長

○ 山本課長

○ 清宮主事

入口

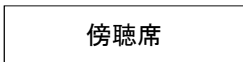


○ センター
生涯学習総合

○ 中央図書館

○ 石田係長

○ 高野主事



○ ○ ○

令和3年度第2回（第11期第1回）さいたま市社会教育委員会議 会議録

○開催日時：令和3年11月15日（月）10時00分～11時30分

○開催場所：第二別館1階 第1会議室

○出席者名：【委員】若原 幸範議長、加藤 美幸副議長、石田 玲子委員、
井上 久雄委員、桑原 静委員、小森谷 由紀江委員、
佐藤 理恵委員、関根 公一委員、高山 俊介委員、
林 弘樹委員、溝口 景子委員、村山 和弘委員

【事務局】（生涯学習部）千葉 裕

（生涯学習振興課）山本 高弘、竹居 秀子、石田 悦子
久松 丈記、清宮 雅貴、高野 未紗

○欠席者名：内田 崇史委員、塚元 夢野委員、亘理 史子委員

○公開・非公開の別：公開

○傍聴人の数：なし

1 開会

2 委嘱状交付

3 教育長挨拶

4 自己紹介

5 議長・副議長選出

議長に若原委員の推薦が委員からあり、承認された。

副議長については事務局案として加藤委員を推薦し、承認された。

6 議事

(1) 報告事項

① さいたま市社会教育委員会議の概要について

第11期さいたま市社会教育委員会議の概要について、資料1に基づき説明した。

② 前回会議について

令和3年度第1回会議の概要について、会議録に基づき説明した。

③ さいたま市生涯学習ビジョンについて

さいたま市生涯学習ビジョンの概要について、資料2に基づき説明した。

【質疑応答・意見】

< 桑原静委員 >

生涯学習ビジョンの冊子はどこに行けば手に入るのか。

<事務局>

生涯学習総合センター、公民館、コミュニティセンターなど、主に生涯学習の現場で配布している。

④ 生涯学習推進計画関連事業調査について

第二次生涯学習推進計画関連事業の調査結果について、資料3に基づき説明した。

【質疑応答・意見】

<林委員>

1点目として第10期社会教育委員会議でも話題になったが、去年はコロナ禍で多くの事業が実施できなかった一方で、生涯学習の重要性はますます向上していると感じている。非常事態であっても生涯学習の歩みを止めないことこそが、行政が主体となって生涯学習を推進する意義とも繋がる。

教育委員会でも様々な模索がされた中で、事業のオンライン化も手段の一つではあるが、それだけではなく生涯学習の歩みを止めない、事業を止めないような対応を考えていかなければならないと思っている。

2点目として、教育委員会だけが主体となって学びのサポートを推進していくことには限界がある。そこで企業・大学・市民団体等との公民連携のネットワークを生かすことはもちろん必要だが、さいたま市の中でも生涯学習に関しては教育委員会と市長部局に跨っている部分が半分近くある。生涯学習を推進するためには、部局を跨った連携をしていくことがキーとなると考えるので、そのスタンスを伺いたい。

<事務局>

コロナ禍では施設の休館などもあり、初めての経験で各施設でも対応に苦慮した。そのような中でe公民館などのデジタルコンテンツを、まずは手近にできることとして配信した。ご指摘のとおり、オンラインのみが対応手段ではないが、まずはできることとして実施したものである。生涯学習振興課としてもZoom配信用のパソコンを導入するなど、対応を進めている。

今回の報告は第2次生涯学習推進計画に基づく調査のため、コロナ禍への対応という視点での報告としては十分ではないが、それについては、今後総括のような形でまとめたいと考えている。

2点目の行政内の連携に関しては、我々としても大きな課題として認識しているところである。資料3のとおり、関連事業も半分は市長部局で実施されているという実態もある。現在、生涯学習推進検討会議という市長部局の課長級職員も含めた会議体を持っており、市長部局とより一層の連携を図っていきたい。

<議長>

今後、同じような事態が到来したときのため、あるいはこの経験を踏まえて日常の生涯学習をバージョンアップしていくために、市にはしっかりした検証を期待したい。

<村山委員>

市には我々のスポーツ協会を含め 10 数個の外郭団体もある。ぜひ、今後調査する機会があれば、外郭団体も含めて検証をしていただきたい。

<事務局>

様々な団体とのネットワークが生涯学習のネットワークにつながると認識している。ご指摘の点についても配慮していきたい。

<小森谷委員>

e 公民館については、コンテンツによって配信されている講座のクオリティもまちまちであるので、今後コンテンツの質の充実も図っていただきたい。

<事務局>

オンラインコンテンツの普及によって、講座等の企画を後日視聴するという機会も増えてきており、良い面も悪い面も含めて、いろいろな面が見えてきていると認識している。これまでになかった厳しい目で評価を受ける可能性を認識しながら、事業を実施していきたい。

<林委員>

学びを止めないために始まった取組だが、実施するとそれだけではない別の面が見えてきた。さいたま市は 60 館の公民館と 25 館の図書館を擁していて、これは大きな武器となる。それらが作ったコンテンツをオンライン上に一挙に載せたことで、規模の威力のようなものが発揮された。

その一方で、各館が独自にたくさんのことを行っているのに、それぞれの地区で事業が完結してしまっていることも分かってきた。それは公民館活動に限らず、図書館資料という点でも、各館で完結して特色が見えてこないという部分がある。

今回、オンラインコンテンツの存在が一つの切り口となり、市全体として生涯学習関連施設の価値を積み上げていき、それが全体のクオリティの向上にもつながるような形を期待したい。それがテレビや YouTube とは違う、地域の大切な情報を伝えるコンテンツとなっていく起点となると、非常に有意義だと思う。

(2) 協議事項

① 第 11 期社会教育委員会議における審議内容について

第 11 期さいたま市社会教育委員会議において審議する内容について、資料 4 を基に事務局案を提示した。

第 2 回以降の会議で委員には意見を求め、審議内容を決定していくことで委員の承認を得た

【質疑応答・意見】

<桑原委員>

シニアユニバーシティ等の卒業生が独自に勉強会を開いたりしているが、人材バン

クの存在を知らないために講師不足であるという声がある。生涯学習ガイドブックと生涯学習ビジョンを彼らに配布するなど、制度の周知から進めることもできるので次回の委員会までにもそういうところから始められたらよいと感じている。

(3) その他

さいたま市生涯学習フェスティバルについて、資料5を基に実施報告を行った。また、令和3年10月に発行した生涯学習ガイドブックについて委員に紹介した。

7 閉会

以上

コロナ禍における生涯学習関連施設での取組等について

1 施設休館期間

(1) 令和2年3月2日～5月31日（91日間）

全生涯学習関連施設が臨時休館した。

(2) 令和3年1月26日～3月21日（55日間）

図書館、博物館を除く生涯学習関連施設が臨時休館した。

2 各施設での感染症対応

(1) 公民館

- ・ 令和2年 6月1日～9月30日
 - ・ 令和2年12月下旬～令和3年1月25日
 - ・ 令和3年 8月2日～9月30日
- } 各室の利用人数に上限を設定した。

現在でも運動・発声などの活動内容によっては収容定員の半数での利用制限を設けている。

(2) 図書館

- ・ 令和2年5月15日～ 臨時窓口を設けて予約資料の貸出のみを行った。
 - ・ 令和2年6月 1日～令和2年9月30日 館内滞在時間の目安を設定した。
 - ・ 令和2年6月 1日～6月15日
 - ・ 令和3年1月26日～3月21日
- } 閲覧席の利用を禁止とした。

(3) 博物館等

- ・ 現在に至るまで、館内滞留人数に制限を設けている。
- ・ 利用者が手を触れる展示は原則利用禁止としていたが、令和3年11月11日に空気の対流等が発生しない一部展示の利用を再開した。

3 オンライン講座・コンテンツ等の提供

令和2年3月19日に児童生徒向けの「学びの玉手箱」、5月11日に市民向けの「学びの泉」を公開した。

- ・ 学びの玉手箱 14 コンテンツ（閲覧回数：50,025件）
- ・ 学びの泉 8 コンテンツ（閲覧回数：22,932件）
- e 公民館 141 コンテンツ（閲覧回数：27,354件）

※ 閲覧回数はポータルサイトの表示回数。（令和4年1月11日時点）

※ e 公民館は学びの泉の一部。

- (1) 公民館職員へ向け、林弘樹委員をお招きしてe公民館の動画作成講習を行った。
 - ・ 令和2年7月 1日・7月 8日 「動画コンテンツ作成スキルアップ研修」
 - ・ 令和2年8月25日・8月26日 「同研修 ステップアップ編」
- (2) 生涯学習関連施設等の職員に向け、生涯学習人材バンクの登録者に依頼し、WEB会議システムを活用した講座を実施するための実践的な講習を行った。
 - ・ 令和2年7月20日 「オンラインを活用した『さいたま市生涯学習人材バンク』の実演講座」
 - ・ 令和3年2月22日 「『さいたま市生涯学習人材バンク』オンライン講座」
- (3) 生涯学習振興課においてノートPC、プロジェクター、WEBカメラ、Wi-Fiルーター等を一式リースし、生涯学習関連施設等でのオンライン講座の実施や、コンテンツの作成等に使用できる環境を整え、令和3年8月1日より運用を開始している。

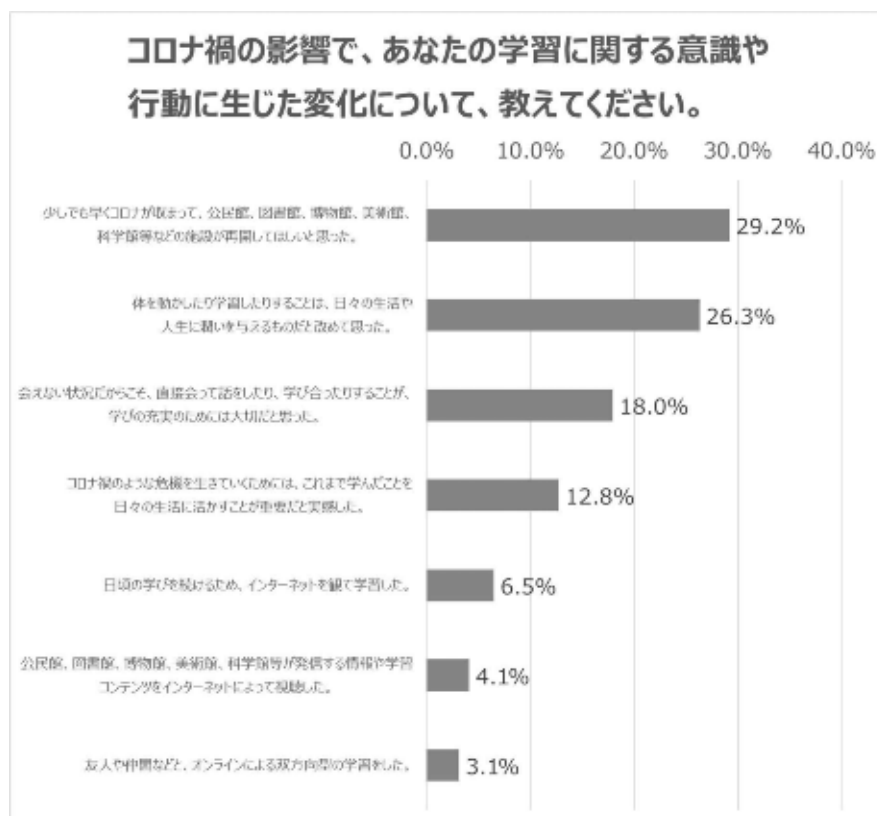
4 施設利用者の御意見（令和2年度生涯学習アンケートより）

期 間 令和2年7月20日（月）～8月21日（金） 33日間

配布場所 生涯学習部各課および生涯学習関連施設（100館）

回答数 3,349件

- (1) コロナ禍の影響で学習や行動に生じた変化について（1つ選択）



(2) これからの時代に、学びを充実させるために重要なこと、必要なこと（自由記述）

- ・ ネット社会を十分に活用できるように知識を深めていく意欲を持つことが大切だと思う。
- ・ 一人で孤立して頑張るのではなく、外部（インターネットを含む）と連携を取って学習する方が継続しやすく、効果もあげやすい。
- ・ ネット環境の充実、年配の方もオンラインでできるといいと思います。
- ・ テレワークの時代なので with コロナを実践するためにも ZOOM は必要と思う。
- ・ ワクチンができない限り、直接会う学びは難しいので、ネットを融合させた学び（具体的にはオーディオブックの導入や電子書籍の充実）を構築してほしい。
- ・ インターネットを始め、世界が広がりました。時代に追いついていくのは疲れますが、「わかるようになる」「できるようになる」のは何歳になっても楽しく嬉しいです。好奇心を満たす環境は大切ですね。

- ・ オンラインはあくまで限定的です。人と人とのふれ合いは大切。
- ・ 学ぶためには、オンラインでもできますが、やはり仲間と一緒に先生に教授されることが大事だと改めて感じた。
- ・ 昔、幼児を持つ母親の為の講座に参加して、とても勉強になりました。ネットより実際に会う、話す事の重要性が更に増したと思います。背景には、少子高齢化があります。講座を通して学んだ事、思春期の子供との接し方などとても参考になりました。ネットだと心に留まらなかったと思います。
- ・ 学んだ事を自分のモノにするには、体験することが必要だと思うので、体験できる場を増やすことが重要だと思います。
- ・ 本当は都内や横浜などの企画展行きたいけどコロナで心配でいけないので、これをきっかけに近くの博物館へ再び来ようと思った。



トップページ > 子育て・教育 > 生涯学習 > お知らせ >

さいたま市 学びの玉手箱 ～おうちで博物館・美術館・宇宙科学館・図書館等～

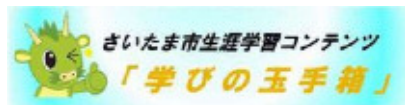
← 一つ前に見ていたページに戻る

更新日付：2021年6月21日 / ページ番号：0071093

さいたま市 学びの玉手箱 ～おうちで博物館・美術館・宇宙科学館・図書館等～

このページを印刷する

さいたま市教育委員会では、児童生徒がご家庭で利用できるよう、生涯学習関連施設が作成した学習教材をパッケージ化し、アクセスしやすいよう「さいたま市 学びの玉手箱」として、ホームページ等で配信します。



内容

施設名	タイトル	内容
市立博物館	おうちミュージアム	児童生徒がおうちで楽しめるように、「わりばし鉄砲をつくろう」「まんげきょうをつくろう」など様々なコンテンツをHPで公開。Twitterでは、画像や動画を配信。
	スタディミュージアム	クイズやワークシートなど、小中学生の子どもたちがおうちで楽しく学習できるアイデアをHPで公開。
	エア博物館	Twitter上でさいたま市の博物館を楽しめるように、博物館の収蔵品や企画展情報について、画像と解説を情報配信。
	与野郷土資料館クイズ	令和2年4月に開館した与野郷土資料館の見所をいち早く紹介するクイズを公開しています。
うらわ美術館	おうちで美術鑑賞！	おうちにいながら美術鑑賞ができるコンテンツ。作品を見ながらできる「鑑賞ゲーム」や、すぐに取り組める「鑑賞ワークシート」をHPで公開。
宇宙科学館	青少年宇宙科学館「科学戦隊さいレンジャー」のワクワクサイエンスボックス	科学館のキャラクター「科学戦隊さいレンジャー」が、おうちでできる簡単な実験やものづくりを楽しく紹介。科学館HPで公開。
	宇宙劇場「ベビー&キッズ劇場」	さいたま市宇宙劇場の大人気イベント「はじめてのプラネタリウム ベビー&キッズ劇場 オンライン特別版」の動画を配信。家族で楽しめるプラネタリウムコンテンツ。
図書館	小中高生必見！「読書応援コンテンツ」 （児童向け） / （生徒向け）	児童向け：本を簡単に探せる「こどもの本のページ」をHPで公開。 生徒向け：ビブリオバトル、高校生POPを紹介する「10代のページ」をHPで公開。
	としょ丸遊戯道場にちょうせん！	「としょ丸しんぶん」に掲載したクロスワードパズルや、まちがいさがしなど、おうちで楽しめるコンテンツをHPで公開。
	「本は王さま」おすすめの本	さいたま市図書館員おすすめの児童書ブックリスト「本は王さま」で過去に紹介した本36タイトルを電子書籍で読むことができます。
	としょ丸チャンネル	図書館のひみつやお仕事体験、おうちでできる工作など、動画や画像で配信。
文化財保護課	めざせ！さいたま考古マスター！	さいたま市の遺跡から発掘した縄文時代や平安時代などの出土品の写真を見て答える「おもしろクイズ」をHPで公開。
	深掘り文化財	真福寺貝塚、見沼通船堀、岩槻城跡などの指定文化財を詳しく解説。

お問い合わせ

施設名	住所	電話番号	FAX番号
市立博物館	大宮区高鼻町2-1-2	048-644-2322	048-644-2313



トップページ > 子育て・教育 > 生涯学習 > お知らせ >

Your Personal Lounge「さいたま市生涯学習コンテンツ 『学びの泉』」～生涯学習関連施設「探訪」

～

← 一つ前に見ていたページに戻る

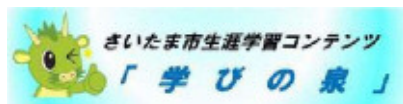
更新日付：2021年12月3日 / ページ番号：C072326

Your Personal Lounge「さいたま市生涯学習コンテンツ 『学びの泉』」～生涯学習関連施設「探訪」～

このページを印刷する

本市の生涯学習関連施設が持つ魅力溢れる学習資源等を市民の皆様方に提供できるよう、「さいたま市生涯学習コンテンツ 『学びの泉』」を本市Websiteに掲載しました。

泉のごとく湧き出る市民の皆様への知的欲求にお応えできるよう、また、泉が万物に潤いを与え豊かにするように、皆様の生活がますます豊かなものになりますよう、お手伝いをさせていただきます。本市の学芸員や指導主事、社会教育主事、司書等の専門家と各施設の職員が力を合わせて、多種多様な学びの教材を用意しました。どうぞお楽しみください。



コンテンツ

施設名	タイトル	内容
市立博物館	さいたまのJAPAN BLUE ～さいたまを染める～	東京オリンピック・パラリンピック2020のロゴマークである市松模様のデザインに用いられている「藍色」。ここでは企画展「さいたまのJAPAN BLUE～さいたまを染める!～」と題して、さいたま市のJAPAN BLUEの歴史や伝統、技について、4回シリーズで動画配信します。
	与野郷土資料館展示web解説	与野郷土資料館での展示を補完するために、web上で解説をしています。
うらわ美術館	うらわ美術館の萌芽 開館当時の収蔵品紹介	今年開館20周年を迎えた節目に併せ、開館の年に発行された「うらわ美術館ニュース01（創刊号）」の収蔵品紹介コーナーを再録します。20年の時を経てもなお情報が色褪せない収蔵品の解説は、市民の方々からもう一度読みたいとの声があつたたびたび寄せられています。ぜひこの機会に、開館当時へと思いを馳せながらお楽しみください。今後、好評だった回を更新する予定です。
うらわ美術館	開館20周年記念展中止に伴う 代替企画「Art into Life」との連携	「Art into Life」は、開館20周年記念展中止に伴い新たに企画したものです。その第一段コンテンツとして、本年4月29日に、うらわ美術館教育普及用キャラクター「うらびい」の誕生をテーマに取り上げました。うらわ美術館では、多くの方々にアート、そして美術館とつながっていただくことを目的とし、“日常生活にアートを（Art into Life）”をテーマに、アートの可能性を再発見するための取組（コンテンツ）を順次配信していきます。
生涯学習総合センター・公民館		「e公民館」は自宅において学習できる様々なコンテンツを動画などでお届けする情報配信サイトです。現在、「おうちde簡単ストレッチ」「朝ドラ時間de新聞ペーパーバッグ」などのコンテンツを公開しています。今後も全ての公民館60館で作成した魅力あるコンテンツを順次公開します。
中央図書館	さいたま市図書館オリジナル 「地域もの知りけんてー」	さいたま市図書館には各地域の特色ある文化・伝統・自然環境など地域の宝ともいえる情報を集めた「地域資料コーナー」があります。ここでは、さいたま市図書館の地域学習資源を題材に図書館オリジナル「地域もの知りけんてー」を公開しますので、ぜひ挑戦してください。
中央図書館	さいたま市図書館「コロナ情報館」	



トップページ > 子育て・教育 > 生涯学習 > お知らせ >

e公民館（おうちこうみんかん）～いつでも どこでも どなたでも～

← 一つ前に見ていたページに戻る

更新日付：2022年1月6日 / ページ番号：0072529

e公民館（おうちこうみんかん）～いつでも どこでも どなたでも～

このページを印刷する



「e公民館」は、自宅において学習ができる様々なコンテンツを動画などでお届けする情報配信サイトです。
 全ての公民館60館で作成した魅力あるコンテンツを順次配信していきます。
 ※「e公民館」は「education(教育)&良い(いい)」を意味する情報発信サイトの愛称です。

さいたま市誕生20周年を記念して、特設サイトを作成しました。
 右の画像をクリックするとページへ移動できます。



施設名	タイトル	内容
指扇公民館	お家で味噌作り	自分の動力、手間暇かけて作り上げた味噌を味わってみましょう！
	簡単おやつレシピ	パン耳ピザと豆腐スイーツを作って食べよう
	簡単料理おかずとデザートレシピ	・サバの水煮缶とキャベツの和え物 ・バナナのイワシ巻きフライ ・簡単ティラミス
	アンケートによる親の学習事業「家事分担みんなどうしてる?!」	「家事分担」に関するアンケート結果
	首と肩周りのストレッチ	子育て中の方々のため「首と肩周りのストレッチ」の方法をご説明
	抱っこひもの使い方	子育て中の方々のため「抱っこひもの使い方」をご説明
馬宮公民館	「おうちde簡単ストレッチ」 ※共催事業（日進公民館）	タオルを使った簡単ストレッチ、軽い筋トレ、有酸素運動
	おうちdeカラフルコンサート vol.1 ピアノ編 ※共催事業（日進公民館）	十人十色 ありのままで～音楽でつながろう～
	おうちdeひんやりおやつ「プリン」 ※共催事業（日進公民館）	親子でつくる簡単プリン
	おうちde子どもと一緒に防災会議 ※共催事業（日進公民館）	「いざ」というときに備えて家族みんなで楽しく防災
	おうちdeカラフルコンサートvol.2 フルート編 ※共催事業（日進公民館）	十人十色 ありのままで～音楽でつながろう～
	おうちdeカラフルコンサートvol.6 チェロ編 ※共催事業（日進公民館）	十人十色 ありのままで～音楽でつながろう～
	おうちde自己紹介トレーニング ※共催事業（日進公民館）	新年度や新学期には新しい出会いがあります。「人前で話すのは苦手」

第 11 期社会教育委員会議における審議内容について

1 第 11 期検討テーマ

「さいたま市生涯学習ビジョン」を実現していくための方策について

2 委員からの御意見等

(1) ビジョンの評価・検証の方法等

- ・ 社会教育施設等の関係機関に照会をかけ、ビジョンの方向性に該当する事業をピックアップする。
- ・ 生涯学習にかかわる分野の各施設等で行われている事業の基本計画や指針を相互に連携・共有し、点検・評価していく。
- ・ ビジョンの実現を示す達成目標の明確化。達成度合いを検証していく評価システムの構築。
- ・ 毎年度振り返りを行い、必要に応じて変更を加えていく。

(2) ビジョン実現に向けた方策等

ア 課題

- ・ さいたま市は東京のベッドタウンのため特長がなく、帰属意識や誇りが低い。
- ・ 高齢者や障害者への取組の工夫、行政からのアプローチ。
- ・ 地域レベルでのビジョンの具体化。
- ・ 生涯学習の概念を教育委員会外の役所内の職員にも共有する。

イ 具体的な提案

- ・ 各施設が実施する事業の広報の際、その事業がビジョンの方向性 1～3 のどれに当るかを明記してもらう。
- ・ ビジョンの周知のため、ポスターの作成、サイトへの掲載、説明動画の配信等。
- ・ 生涯学習フェスティバルの継続と各施設事業とのハイブリッド化、各施設でビジョンを周知するイベントの開催。
- ・ 講座の受講やボランティア活動でポイントが貯まるカードを作成。
- ・ 各施設でのビジョンへの「取組アピール期間」を設定し、ビジョンの浸透・実現の方法を探る。
- ・ 住民と共に取り組めるようなプロジェクトをつくる。「生涯学習」という言葉を使わず結果として「ビジョン」を実演していける場の設定と、そのプロセスの広報。
- ・ 具体的な啓発活動として、教育委員会（図書館、公民館）、市長部局（体育施設、

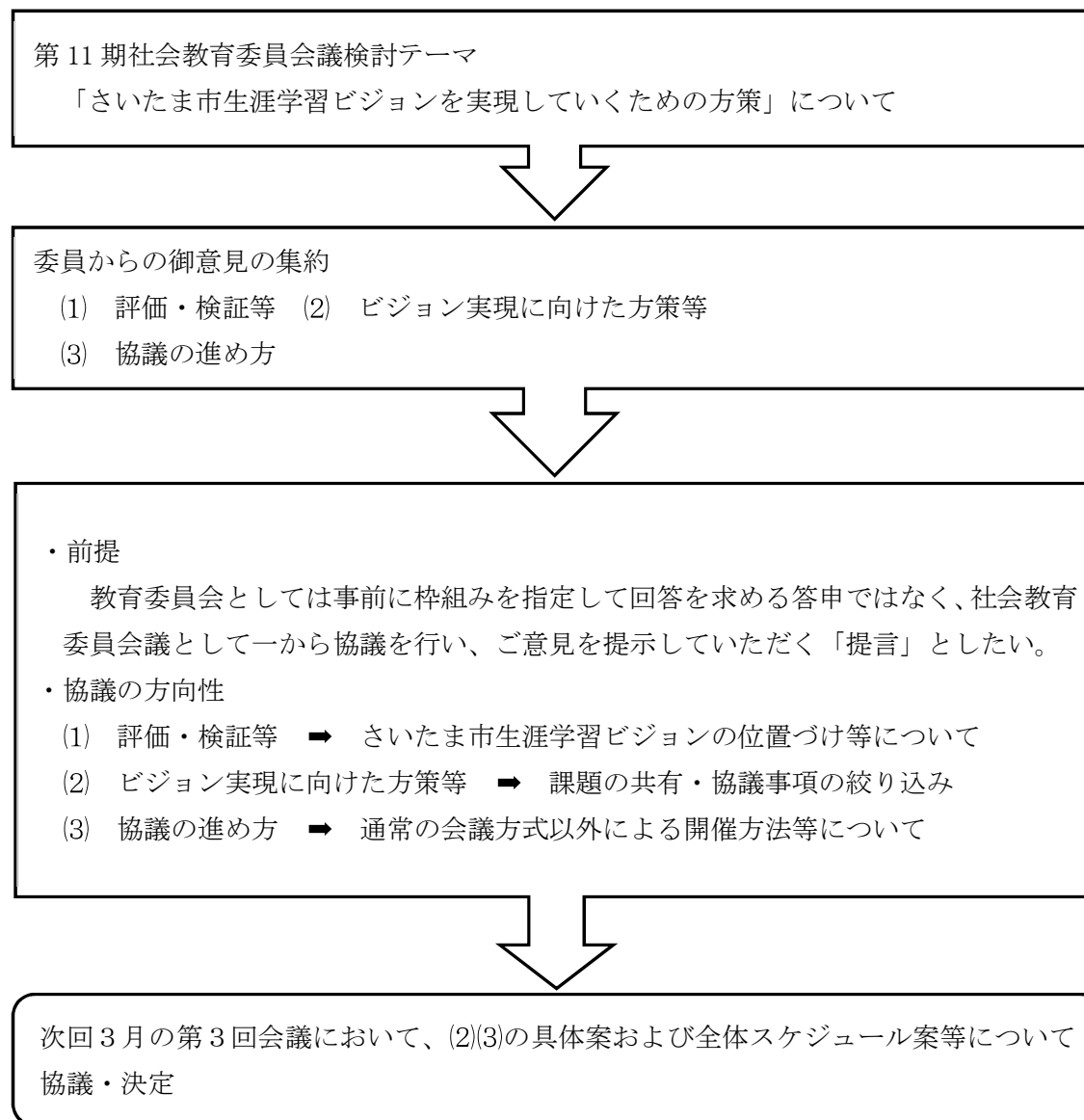
文化施設) モデルケースづくり、その検証のため各分野の専門家から、ステップアップするためのアドバイスをもらう。

- LINE や google forms を活用した各種講座等への参加申込と登録方法の工夫。
- スポーツ庁が推し進めている総合地域スポーツの振興として、多世代の住民が学校の部活動に関わる。
- プロの方の講演やWSにより「ホンモノ」に触れる機会の提供。
- 学んだことを発表できる機会の提供。
- 学びを通じた仲間づくりの企画。
- 文化庁巡回講演のさいたま市版の企画。

(3) 協議の進め方

- ワークショップ形式でビジョン推進のための課題や障害を洗い出し、解決方法、アイデアを考える。その中で「広報」「コミュニティ」「コーディネート機能」等の大きなテーマに分け、さらに協議を深める。
- 教育委員会外の関連部局にも出席してもらい協議。
- 他都市や海外の類似計画との比較検討を行いながら協議を執り行う。
- 社会教育委員と教育委員会事務局内での意識や前提を共有し、教育委員会外の職員とも生涯学習推進の意義や意図、成果を主体的に考え連携する。

第11期社会教育委員会議の進め方



[参考]

第11期スケジュール（予定）

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
R3.11.15	R4.1.13	R4.3	R4.7	R4.11	R5.1	R5.3	R5.7
委嘱等	検討準備①	検討準備②	検 討 等				まとめ

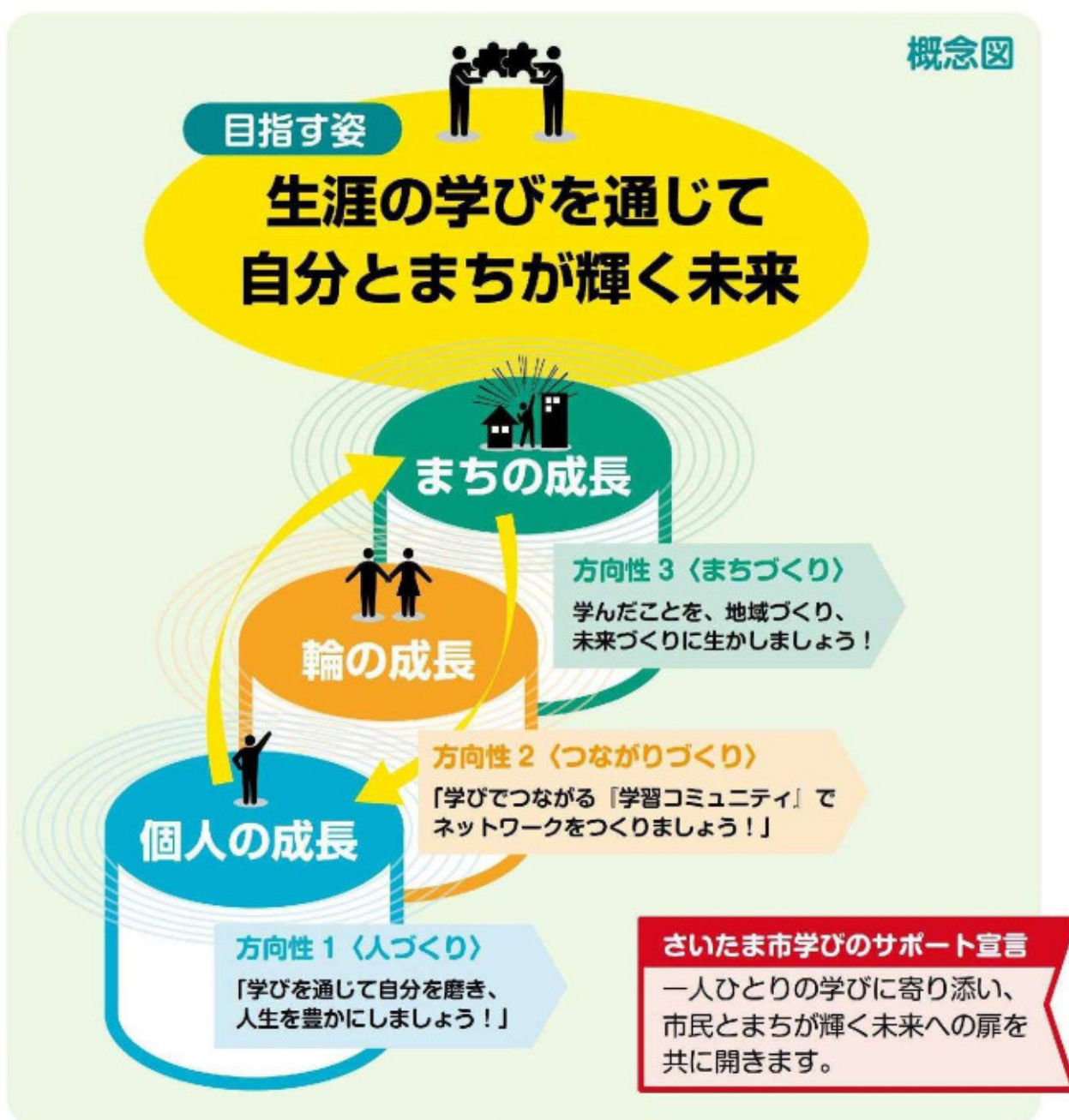
[今回]

さいたま市生涯学習ビジョン

1 さいたま市生涯学習ビジョン策定の目的

社会が地球規模で変化する時代にあって、生涯にわたる学びのあり方のそのものが大きく転換する今、学びの力や学びの持つ新たな可能性を市民の皆様と共有するため、令和3年3月に「さいたま市生涯学習ビジョン」を策定しました。

2 生涯学習ビジョンの概念図

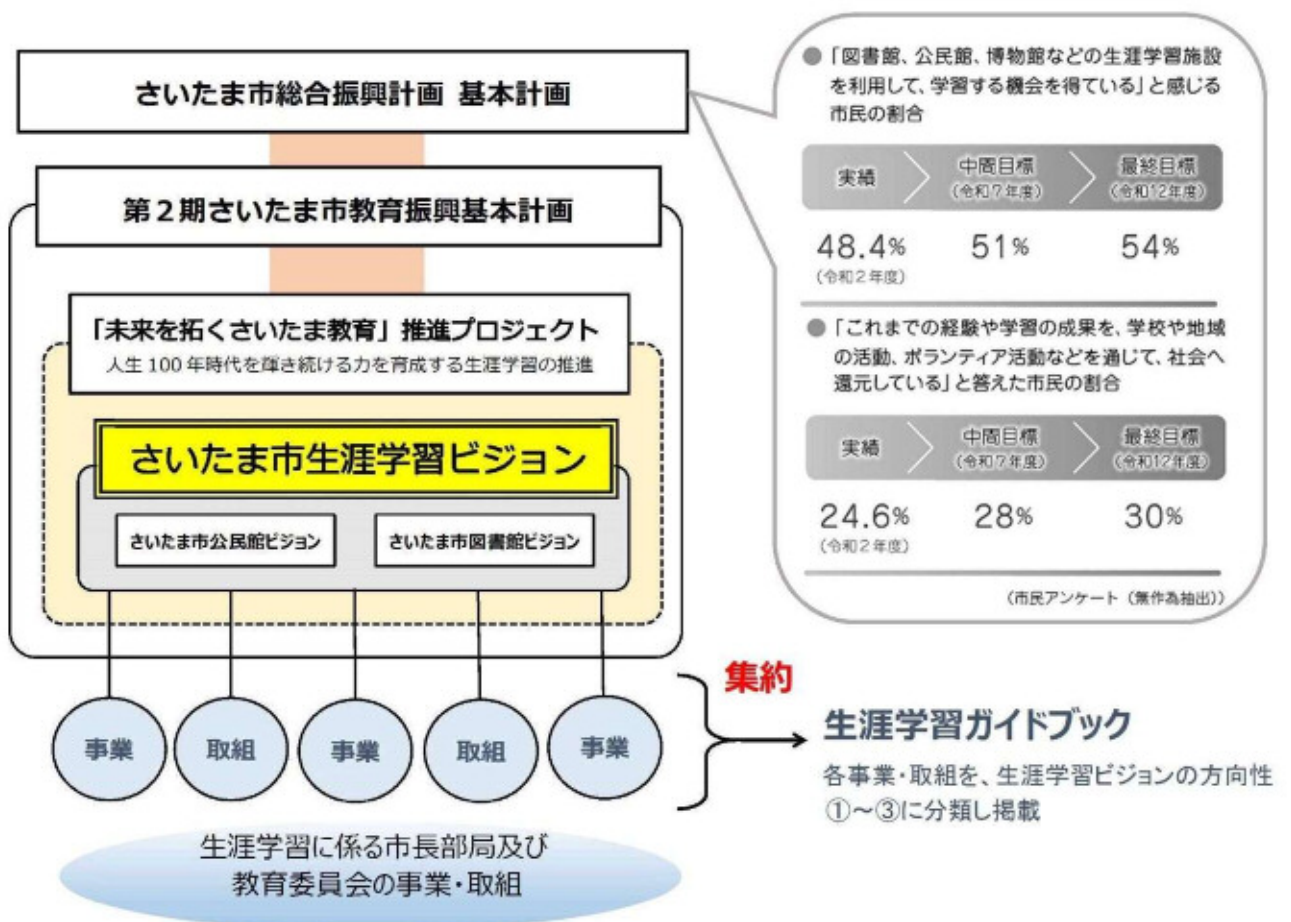


「さいたま市生涯学習ビジョン」の位置づけ

「さいたま市生涯学習ビジョン」は、本市の最上位計画である「さいたま市総合振興計画基本計画」の個別計画「第2期さいたま市教育振興基本計画」に紐づいている。

各所管の個別事業に対する評価・検証を目的とするのではなく、市民に向け、生涯学習への意識向上を図るための方向性を示すものとして策定された。

「さいたま市生涯学習ビジョン」に基づく生涯学習推進の成果指標は、「さいたま市総合振興計画基本計画」で設定しており、無作為抽出による市民アンケートにより評価している。



各種社会教育関係協議会・大会について

1 指定都市社会教育委員連絡協議会

- (1) 期 日：令和3年7月2日（金）
- (2) 担当市：大阪市（感染症拡大防止のため書面開催）
- (3) 協議題：

堺市	ICTを活用した学習でのデジタルデバイド対策について
広島市	社会教育士との連携・協働事例について
札幌市	コロナ禍における学びの場の変化と対応状況について
仙台市	困難を抱える家庭や子どもたち、外国人の家族や子どもたち、障害のある方々や家族への社会教育的支援・取組みについて
新潟市	親の学びの機会や内容の工夫および家庭教育の充実に向けた人材育成について
横浜市	コロナ禍における社会教育事業の実施状況や工夫している点
福岡市	学校卒業後における障がい者の学習活動の支援について
北九州市	家庭教育学級の実施状況について
熊本市	新しい生活様式に対応した公設公民館での講座等事業及び情報発信について

※令和4年度は福岡市にて開催予定

2 全国社会教育研究大会

- (1) 期 日：令和3年10月28日（木）
- (2) 開催地：石川県（感染症拡大防止のためオンライン開催）
- (3) 分科会：

1	家庭教育の入り口は「家庭」から～ママの学びの場～
2	家庭教育向上のための仕掛けづくり「つなぐミーティング」
3	郡上市における青少年育成活動
4	かわきたの明日の子どもを育てる町民会議の取り組み
5	歴史・文化・自然を活かした地域づくり
6	地域訪問活動から始まる 青少年育成やご近所福祉
7	つながりのある地域社会へ～子どもの健全育成と地域住民の教育文化活動～
8	地域活性に繋ぐ社会教育団体支援の取り組み
9	社会教育委員の役割～富山県砺波市の事例紹介～
10	社会教育委員の役割と課題

※令和4年度は広島市にて開催予定

3 関東甲信越静社会教育研究大会

- (1) 期 日 : 令和3年11月11日(木)
- (2) 開催地 : 東京都府中市(感染症拡大防止のためオンライン開催)
- (3) 大会詳細: 別紙のとおり

◆ 第 52 回関東甲信越静社会教育研究大会東京大会の配信について

東京都市町村社会教育委員連絡協議会

新型コロナウイルス感染症拡大により、第 52 回関東甲信越静社会教育研究大会東京大会（「東京大会」）に参加できなかった全国各地の皆様や大会関係者の皆様に大会冊子データ及び「東京大会」の様子を収めた記録動画を後日インターネット上に期間限定で公開する予定です。

【閲覧方法】

- 1 <https://syakaiky.wixsite.com/website> にアクセスする。



※左の QR コードからもアクセス可能です。

「東京大会」のホームページは Internet Explorer のブラウザーでは閲覧できない場合があります。Google Chrome のブラウザーで閲覧ください。



※トップページのレイアウトについては変更する場合がありますので、御了承ください

- 2 閲覧したいコンテンツを選択する

- (1) 大会冊子データ 大会冊子ダウンロード を左クリックする。
 (2) 記録動画 東京大会記録動画 (YouTube) を左クリックする。

【大会冊子データ及び記録動画の配信期間】

- (1) 大会冊子データ
 令和 3 年 1 月 1 日 (木) から
 令和 4 年 1 月 3 日 (月) まで (予定)
- (2) 記録動画 (YouTube)
 令和 3 年 1 月 1 日 (水) から
 令和 4 年 1 月 3 日 (月) まで (予定)
- ※東京大会の様子についてライブ配信は実施しません。

